

水

都

の

伝

説

甘

味

私の地元、岐阜県大垣市では岐阜県の濃尾平野北西部に位置しており、日本列島の一番「ど真ん中」にある都市として有名です。

また地下水が豊富で、大垣には「水の都」の異名もあります。豊富な地下水は大垣市の上水道の水源であり、地下水を生かした菓子などの食品づくりも盛んに行われています。その伝統的な甘味を私がお薦めする、「金蝶堂総本家」から季節ごとに紹介します(*´▽`)♪

春

いちご餅



ふわふわのお餅の中に、大粒の甘ずっぱいいちごを包んであり、お餅と白餡、そしていちごの絶妙なハーモニーがひと口かめば、お口いっぱいにはいちごの香りがひろがります。

古くから大垣地方は、豊かな地下水に恵まれ近年まで市内の色々な所で自噴水が湧き出ていました。この清らかな名水によって明治初期に大垣の地で生まれたのが、水都大垣名物「水まんじゅう」です。その水まんじゅうが「猪口」という陶器に入れられ、涼しげに水底に沈んでいる姿は水都大垣の夏の風物詩となっています。

夏

水まんじゅう



秋

栗きんとん



採れたての新鮮な栗だけを使い、さらにその栗を一粒ひと粒丁寧に選り分けて作られます。秋を代表するお菓子です。

これらの伝統的な甘味以外にも、美味しいものが沢山あります。是非、大垣市へお越しください(●・ω・●)♪